

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 4

1. 施設名	住宅型有料老人ホーム 桑の実			
2. 住所	〒	801-0871		
	門司区上本町1-44			
	TEL	093-331-1118		
	FAX	093-331-1228		
3. 地区	門司区	上本町		
4. 入所相談対応者	非公開	①氏名	—	
		①職種	—	
		②氏名	—	
		②職種	—	
5. 施設種別	住宅型有料老人ホーム			
	【補足】『その他』（詳細）	—		
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型			
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり	
		②ベッド数	20床	
7. ショートステイ	あり	【補足】	自費1回3000円	
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している			
	①常勤	1人		
	②非常勤	4人		
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	オンコールで対応		
		【補足】		
		①『オンコール対応』時間	21:00～6:00	
②『その他』（詳細）	週3回は看護師夜勤			
9. 施設の入所基準 ～介護度～	<input type="radio"/>	自立	⇒【補足】	65歳以上 (年齢)
	<input type="radio"/>	要支援1		
	<input type="radio"/>	要支援2		
	<input type="radio"/>	要介護1		
	<input type="radio"/>	要介護2		
	<input type="radio"/>	要介護3		
	<input type="radio"/>	要介護4		
	<input type="radio"/>	要介護5		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	住宅型有料老人ホーム 桑の実		
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ○	
10-2. 施設の入所基準 ～その他～		非公開	受入の可否
			—
		—	身元保証人がいない
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について		
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時
	×	×	経管栄養（胃瘻・腸瘻）
	×	×	経管栄養（経鼻）
	×	×	CVポート
	×	×	中心静脈栄養
	○	×	血糖・インスリン注射
	○	×	点滴静脈輸液
	○	×	褥瘡処置
	×	×	膀胱留置カテーテル
	×	×	膀胱瘻
	×	×	導尿（自己のみ）
	×	×	気管切開
	×	×	人工呼吸器
	○	×	酸素吸入
	×	×	腎瘻
	○	×	浣腸・摘便
	×	×	ストーマ（消化器・尿路）
	×	×	血液透析
	×	×	腹膜透析
	×	×	感染症（MRSA・疥癬他）
	×	×	神経難病
	○	×	喀痰吸引
	—	×	喀痰吸引（夜間）
	—	○	喀痰吸引（昼間）
	○	/	終末期
	—	×	麻薬を用いた疼痛管理
	—	○	施設にて看取り（10-4.実績数）
	—	×	状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	住宅型有料老人ホーム 桑の実		
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 5 件	
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など		
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)
			①職種: — ②人数: —
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)
			①職種: — ②人数: —
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)
①種類: — ②人数: —			
12. 食 事	対応の可否など		
	食形態	○	ソフト
		○	ミキサー
		○	とろみ
		○	ムース
		○	きざみ
	治療食	×	分割食
		×	肝臓食
		×	腎臓食
		○	糖尿病 ⇒【補足】(詳細) 1,000kcal
		○	塩分制限 ⇒【補足】(詳細) 6g
—	○	アレルギー除去食	
	×	嗜好による個別対応	
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定していない
	リハビリ 職員数	P T	2人
		O T	—
S T		—	
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴	
	○	機械浴 ⇒【補足】	車いす ○
			ストレッチャー ×
			リフト ×



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	住宅型有料老人ホーム 桑の実	
15. 透析患者の 受診送迎	非公開	— 【補足】 — に対応 —
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？ 利用者の状況等に応じてケースバイケースで対応する
17. 施設の特徴	理想的な環境でその人らしさを尊重し、重度の要介護（4, 5）の方も寝かせきりにしないでホームでコミュニケーションを取りその都度水分補液、排泄介助を行っています。認知症の方が多く、困難事例も多いですが職員（6名程認知症実践者研修、1名リーダー研修受講）の対応が良いと思っています。また、職員の勤務年数も長く、5～10年以上の方が20人中15名います。	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。